

旧庁舎跡地活用に関する説明会要旨

平成 23 年 3 月 24 日（木） 18:30 麴町区民館

区説明者：島崎部長・松本参事・清古部長・古田副参事

出席者 25 名

質疑応答等

【説明会の開催について】

○過去5回の説明会を聞かせてもらった。4回目までは石川区長が計画の方向性を決めたような言いぶりがあったが、5回目・6回目では消えた。なぜか？

→・4回目に「区長が方向性を決めたのか？」というご質問があり、区として「3つの条件を前提に検討を進めている」とお答えしたが、私の説明で誤解を受けた方がおられたので、誤解を受けた方がいるので、説明内容を訂正させていただいた。

○日本が大変になっているこの時期に、日本のあり方、都市のあり方が問われているこの時期に、なぜ説明会を実施するのか？ほとんどの催事が中止になっている中で、なぜこの説明会だけ 14 日から粛々と行われているのか？仮基本合意書には「3月を目途に、本計画全体の基本的枠組みを規定する協定の作成を目指す」とあり、それに間に合わせようとしているふうにしかならない。

→・強引に計画を進めようとしているわけではない。不要不急な行事は区としても中止させていただいている。しかし、旧庁舎跡地の活用は区民の将来がかかわる重要な事業であり、節目である今の段階で説明することが大切だと判断した。

・3月5日号の広報で不特定多数の皆様呼びかけたこともあり、開催中止のご連絡も難しいため、開催した次第だ。

・トータルに考えさせていただいて判断した。3月末までに決めるから、アリバイづくりのためにやっているわけではない。

【計画の進め方について】

○仮基本合意書に「3月を目途に・・・」とあるが、旧庁舎の特別委員会で、日にちを決めるのはおかしい、という意見があったと思うが？

→・当初は「3月を目途に協定を締結する」とあった。急ぎすぎるという意見もあったために、「協定の作成を目指す」ということにした。

○本計画には誰も反対しないと思うが、旧庁舎跡地は高齢者と病院だけで使う土地か？これだけの土地を現状のような計画における使い方だけでいいのか？隣接する建物との総合開発で考えるにしかるべき土地だ。なぜ急いでいるのか？本計画は九段坂病院が病院のためだけに出してきている計画としか思えない。計画に反対しているわけではない。プラスαをなぜ考えないのか？アンケート 294 件ということだが、千代田区の人口は何人いるのか？アンケートを取ったことすら知らない人もいる。

→・千代田会館は清水門に接する景観のいい土地であり、一体開発のメリット

はあるし、都市計画上もいいプランになる。一方で、一体開発をすると長期にわたることも考えなくてはいけない。

- ・今後、高齢者、特に 75 歳以上の高齢者が増える傾向にある。自宅で医療と介護両方を必要としている人が増えている。当事者から見たら大変な問題だ。旧庁舎跡地の検討を今まで放っておいたというご批判はごもっともだが、だからと言って、今のままでいいという話にもならない。千代田会館についてはサポートセンター後の第二期の開発をにらみつつ、将来的な選択肢として考えていきたい。

○あの二度と得ることのできない希少な土地にこの施設をつくるかどうかにはやはり議論がある。大切な区有地にこの施設を作るという拠り所は 294 名のアンケートなのだろうが、294 名というのは区民の 0.6%だ。全区民の 1%にも満たない。アンケート結果として医療・福祉が一番多かったというが、ここには保育施設も入っている。世論調査にしても〈区政に望む施策〉では高齢者施策と環境施策がいつも上位を占めている。高齢者施策だけではない。このことが忘れ去られてはならない。説明がまやかしに聞こえてしまう。また、去年の 11 月には KKR の理事長と区長が協定みたいなものを結んでいる。事業が力づくで進んでいるように思える。別に、医療機関は不必要だといっているわけではない。手順、手続をしっかりと踏んで仕事して欲しい。

○計画の進捗を長く延ばせと言っているのではない。せっかく実施するわけなので、じっくり考えればもっと良いものができるのでは、ということ。もっと大きな規模でもできるのではないか？住民と一緒にやってきたのか、という思いもある。説明会の開催にしても、もっと地域住民に個別に知らせるぐらいのことが必要だ。

- ・この計画は、区としても大切な問題だと思ってきた。これまで検討してきた中で、とっかかりが出来たので、今の段階で説明会を行わせていただいた。区民の皆様からはプールや温泉など様々な要望がある。きめ細かく説明して参りたい。区としては拙速に進めて行くつもりはない。皆様に理解、納得していただけるようにしたい。6 回実施した説明会も取りまとめを行い、必要なものは検討して相手方にもぶつけながら交渉していきたい。今回は第一歩ということで説明会をさせていただいた。

○行政は方向性が定まると突き進んでいく。内容を詰めれば詰めるほど既成事実となり、計画が進捗していくことになるのではないか。

- ・区民に説明できる内容でないのに計画を押し進めることはできない。老人保健施設の要望は承った。貴重なご意見とさせていただきたい。

○6 箇所の説明会で出た意見を集約し、その情報を区民が入手できるようにしてほしい。（人口減少社会であり、20 年後は増える高齢者も 50 年後は減っていく。）

- ・説明会での意見等は（5 月頃を目途に取りまとめ）議会にも報告するし、同時に皆さんにもお知らせしていく。

【用途について】

○千代田会館が今回の計画に入っていない。先程の説明で「商業用途にしない」とあったが、あの場所は用途地域は商業地域。商業がダメだ、というのは誰が決めたのか？区長が決めたのか？なぜ千代田会館がはずれているのか？

→・区長も言ったが、議会でも、売却せずに区で使っていく、という合意がなされている。商業にしない、というのは、民間への貸付などをする事なく、区民が直接長く使っていく施設としたいという趣旨。そのことを言ったまでだ。

・千代田会館は、多くのテナントが入っている。テナントに出て行ってもらうだけで数年かかる。千代田会館とも議論をしたが、時間的なもので折り合いがつかず、一体開発を断念した経緯がある。

○高齢者総合サポートセンターは他の地域でできないのか？例えば、体育館の敷地でだって出来る。動いてないからではなく、九段会館がああいう状況になった今だからこそ、もっと煮詰めるべきでないのか？どういう努力をしたかが見えない。もっともっとプラスα、そういう努力をしてこそ、千代田区の総合的な開発ができる。

→・意見公募以外にも、世論調査で〈区民に力を入れて欲しい施策〉の調査も行っている。高齢者施策は高い要望の中にある。スポーツ施設こそは他の場所でもいいのではないか、あの場所には区民に一番必要なものをつくるのがいいのではないか、というのが、我々の判断だ。

・場所も検討させていただいた。小川広場、旧九段中、そういう今空いている土地の中で比較検討した。メリット、デメリットがある。その中で、高齢者サポートセンターはここでつくるのが一番いいというのが我々の案だ。

○老人保健施設を併設できないか？

→・ご指摘のとおり、区内に老健がないのが区の課題になっている。利用者は他区の施設を使っている状況がある。区の基本計画でも検討することになっている。ただ、今回のは在宅療養者向けの施設とする計画だ。病院としても病床はなかなか変えられない。

○前回までの説明で40床つくると言っているではないか？

→・増床するのは回復期のリハビリ病床。九段坂病院は整形外科が得意だが、今後はリハビリにも力を入れていこうということだ。

○老健も「16年度から検討している」と言っているが、ずっと検討しているまま。言っている内容が毎回違うのではないか？

→・毎回言うことが違うということではない。

・九段坂病院は腰椎頸椎は強い。それに加えて、脳卒中等のリハビリにも力を入れていこうということで、区としてもそれはいい事だと判断した。在宅医療については今は強くないが、これから強くしていこうということだ。

○九段会館、区役所、千代田会館の一体開発はスケールメリットがある。古地図を見るとお濠端には道があった。この際、それを復元すべきだ。文化・歴史を大事にすべきだ。サポートセンターと九段坂病院を合体した施設には、一つ目

には高齢者サポートセンター、二つ目には健常者向けの施設をつくって、区民に全天候型で開放するべき。三つ目には、文化ホール、歴史資料館みたいなものを入れるべき。

○いきいきプラザに入るのに 100 人待ちという状況がある。自分の親が施設に入れるのか等を気にしている人は多い。九段坂病院が入らなければ、どれだけの施設を建てられるのか？在宅支援を受けるだけのサポートセンターでは……。千代田区の建てたもので誇れる施設はない。もっと長期の計画でもっと誇れる施設をつくれないのか？長い時間をかけて相談して決めれば、できるかもしれない。50 年しか持たないものを建てるのではなく、孫の代まで使える建物をつくってほしい。

○とにかく早くつくってほしい。今回の震災をみても被災地で一番困っているのは医療だ。みんな忘れている。関東大震災はこれから来る。さっさとつくってもらった方がいい。産科・小児科もつくってもらいたい。グランドビジョンも必要だと思っているが、段階的に早急につくってもらいたい。ある程度特典を求められるチャンスを活用すべきだ。向こうから言ってきたのだから、こうした機会を活用すべきだ。他の病院とやっても同じような手順を踏むような気がする。これまでの説明会にも何度も参加しているが、手順手続論になっているような気がする。

○区民の安心を目標としているわけだから、老人保健施設を作ってほしい。この会にしても意見を聞く場なのであるから、最初から否定しないで、建設的にものを考えてほしい。

【計画全般について】

○被災者支援として、グランドプリンス赤坂に建物解体までの3ヶ月間 700 名を受け入れる、と都知事が発言したと聞いた。この人たちは千代田区の保険を使えるのか？

→・住民票を千代田区に移すことになれば、千代田区の保険を使うこととなり、移さないのであれば、住民票を置いている元の自治体の保険を使うことになる。継続的に住まいになれば、医療等のニーズが出てくることもあり得る。いずれにしても具体的な内容が明らかになっておらず、詳細は今後決まると思う。

○5点ほど質問したい。

①なぜ九段坂病院が選ばれたのか？現在の九段坂病院の財務状況を公表してもらいたい。九段坂病院は財政が逼迫していると聞いているが、逼迫している部分を区の財政から支援するのは困る。状況によっては九段坂病院でなく、他の病院を引っ張ってきてもいいのではないか。

②区民優先の内容を教えてほしい。他区からの患者と千代田区民とで違いはあるのか？

③九段坂病院の跡地利用はどうなるのか？売却することで財政の補填ができないのか？

④旧庁舎跡地は皇居の隣接地であるが、周辺の景観とどういうふうに調和させていくのか？

⑤建設工事をした場合、周辺への影響があるのではないのか？

→・九段坂病院の土地はKKRの所有であり、病院が旧庁舎跡地に移転してしまえば空地になる。跡地利用はKKRが国と相談しながら決めていくことになるが、現在はまだ何も決まっていないと聞いている。

・日本全国、多くの病院の経営が厳しい。赤字で経営改善の指導を受けている病院も多い。そうした中で、虎ノ門病院、九段坂病院は黒字経営。ただ、移転してくると、年々の減価償却費や借地料など、新たな負担が発生することになる。移転後も黒字経営を保てるかは、病院にとって重要なこと。

具体化に向けていろいろな経営のシミュレーションを行っていくことになる。区として、赤字を補填するようなプランはつくれない。

・旧庁舎跡地はお濠に面した景観の優れた場所であり、景観への配慮は当然重要。北の丸を見渡せるような景観を大事にしながら、お濠端を歩けるような配慮も必要だと思っている。設計段階ではそういう配慮をしながら進めていく。

・工事が周辺に与える影響はあると思う。両隣の建物への影響、ホテルの宿泊客への影響、千代田会館に入っている放送関係のテナントへの影響など、どういう影響を与えるかを検討しながら、今後進めていく。

・区民優先については、まだ仮基本合意書のレベル。どういう形での区民優先ができるかの検討を踏まえて、地域医療の向上により具体的ににつなげていく。九段坂病院にも生まれ変わってもらう事が必要だと思っている。いずれにしろ、サポートセンターの機能を基本協定書の形にまとめて、区民に納得してもらうことが重要だと思っている。

○今までのやり取りを聞いていて、行政側はプロパガンダが足りないと思う。

九段坂病院は19年5月には千代田区医師会と一緒にあって、旧庁舎跡地への移転を要望したと聞いている。また、年間3億円の余剰金を出しているとも聞いている。経営について、そんなに心配することはない。また、大病院の分院を誘致するなんていうことはそんなに簡単なことではない。九段坂病院が旧庁舎跡地に移転してきた場合は、「千代田区九段坂病院」みたいなネーミングをつけて頑張ってもらいたい。

○5点ほど質問したい。

①高齢者がこの先何年増え続けると考えているか？

②九段坂病院に訪問診療や訪問看護をしてもらうとのことだが、そういった事は普段見てもらっているかかりつけ医にしてもらうというのが、区民の実感ではないか？そうであれば、普段のかかりつけ医の診療に対する補助を考えてもらいたい。

③九段坂病院が本当にしっかりとやってもらっているか、行政としてチェックすることが必要になると思うが、病院の評議会等に区議等が入ることは考え

られないか？

④千代田区には空き地も少な過ぎる。壊すだけ壊して、空き地にしておけば、ヘリコプターが来ることだってできる。空き地にして、いっその事、1年間計画を凍結してもいいのではないか？

⑤意見を言う区民の方も立場を言ってもいいかなと思う。在住・在勤者を言ってもらった方がいい。

→・65歳以上は現状9,300人から25年後には13,000人に増えると推計。都市部の特徴として日本全国よりも長期的に増える傾向にある。

・訪問診療は医師会の先生たちに広まっていけないという現状がある。24H対応の負担が非常に大きい。九段坂病院に在宅診療機能ができれば、医師会の先生たちが学会や旅行の時に一時的に訪問診療を頼むことができるし、利用者が一時的に自宅で過ごせない状況になった時に預かってもらうこともできる。九段坂病院には医師会の先生たちをフォローする機能を期待している。勿論、訪問診療が広まっていくには時間がかかるので、九段坂病院にも直接訪問診療をやってもらいたい。